

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

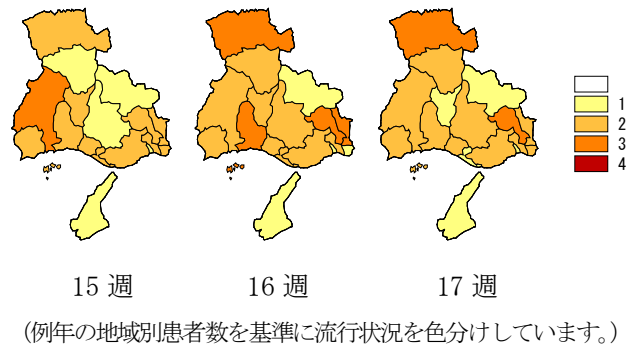
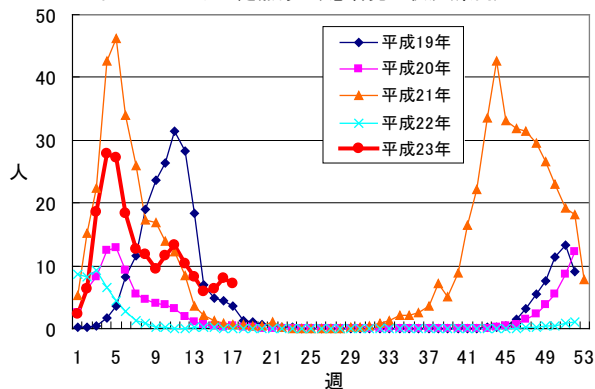
定点あたり患者数は今週 **7.19人**(先週の7.97人)と減少しました。地域的にみると、姫路市、伊丹、宝塚、加東及び朝来の5保健所管内が定点あたり10人以上となっています。

全国的には、北海道、大阪府、福岡県などの16道府県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の17府県に注意レベルの保健所管内があります。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに254検体のインフルエンザウイルスを検出しています。その内訳は新型インフルエンザ(AH1pdm)147件(58%)、A香港型(AH3亜型)72件(28%)、B型35件(14%)と、新型インフルエンザ(AH1pdm)が半数以上を占めていますが、4月以降に検出された21検体ではA香港型(AH3亜型)5件(23%)、B型17件(77%)と、大部分がB型にシフトしています。

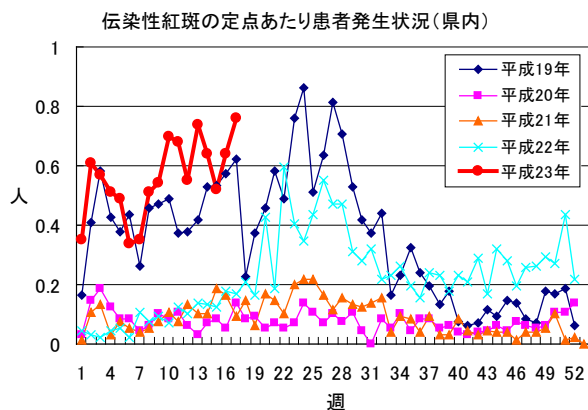
インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



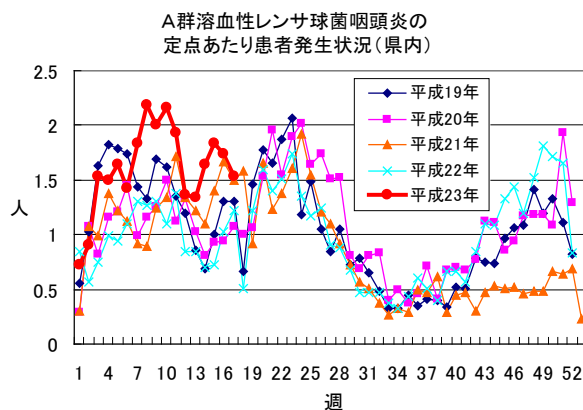
伝染性紅斑

定点あたり患者数は今週 **0.76人**（先週は0.64人）と増加しました。例年に比べて患者数が多くなっています。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点あたり患者数は今週 **1.53人**（先週は1.74人）と減少しました。幼児、学童・生徒を中心に学校、家庭などの集団での発生が多く、注意が必要です。



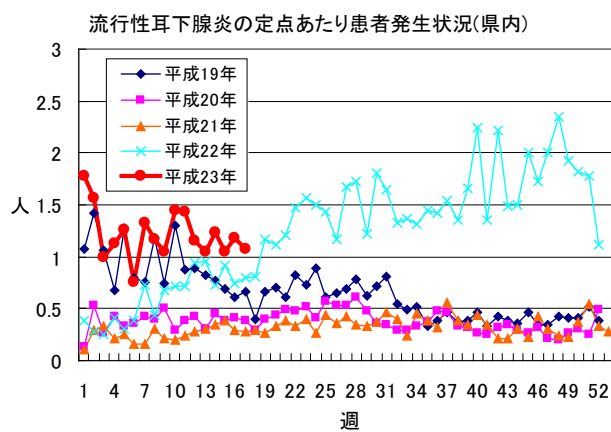
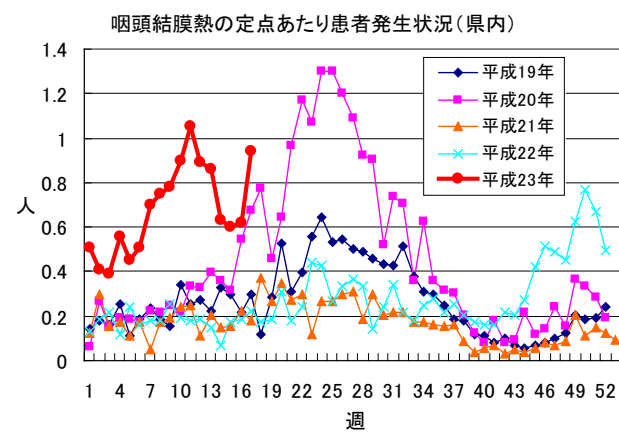
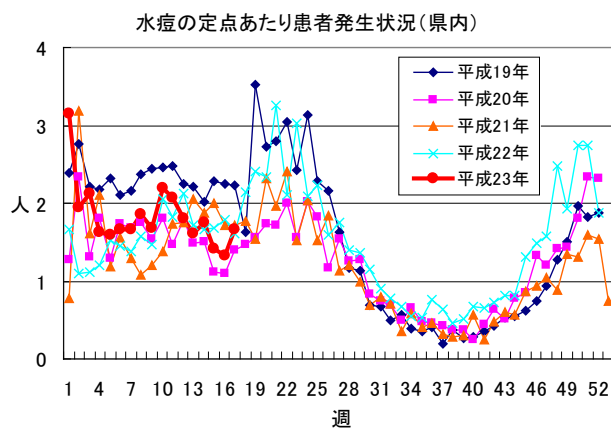
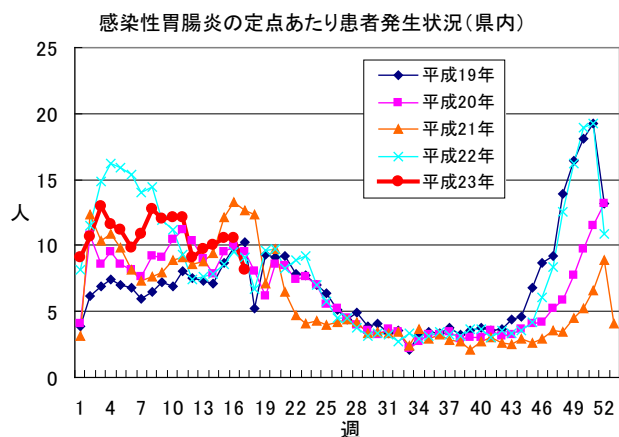
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	8.16	10.58	-2.42	6位	咽頭結膜熱	0.94	0.62	+0.32
2位	インフルエンザ	7.19	7.97	-0.78	7位	伝染性紅斑	0.76	0.64	+0.12
3位	水痘	1.67	1.33	+0.34	8位	流行性角結膜炎	0.69	0.89	-0.20
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	1.74	-0.21	9位	突発性発しん	0.62	0.60	+0.02
5位	流行性耳下腺炎	1.08	1.18	-0.10	10位	RSウイルス感染症	0.26	0.18	+0.08

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 11名 （尼崎市2名、姫路市2名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内3名、加東保健所管内1名、赤穂保健所管内1名、丹波保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	麻しん 1名 （神戸市；検査診断例 男性40歳代 感染地域；国外）
追加報告	結核 12名 （尼崎市1名、姫路市3名、伊丹保健所管内1名、加古川保健所管内3名、加東保健所管内1名、洲本保健所管内3名）、 梅毒 1名 （宝塚保健所管内；無症候（無症状病原体保有者） 男性60歳代 感染地域；国内、感染経路；同性間性的接触）

目で見える動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。